



# まるこやま だより

女川町立女川中学校だより

文責：山内

磨練 慈愛 鍛錬

第 21 号

H29. 2. 16

## 春よ、来い

松任谷由実さんの歌『春よ、来い』に「春よ、まだ見ぬ春…」という歌詞がありますが、目には見えなくとも、春の足音は確実に近づいてきているようですね。

先週、公立高校の前期入試の合格発表がありました。3月8日(水)には後期入試が実施されます。受験生にとっては、目の前の壁から逃げたくなるときもあるかもしれません。けれども、「冬の後には春が来る」。乗り越えた先にはきっとすばらしい「春」が待っていることでしょう。教職員一同、受験生を全力でサポートしていきたいと思います。

さて、学年末考査が終わりましたが、子どもたちのテスト勉強の様子はいかがでしたでしょうか。早速、採点された答案が返された教科もあるようですが、大切なのは「できなかった部分」をそのままにせず、もう一度復習して分からないままにしないことだと思います。学校でも働きかけていきたいと思っておりますので、ご家庭におかれましてもお声がけください。

## 立志の会を終えて

2月3日(金)に、本校の志教育の一環として「立志の会」を実施しました。

第1部では、2年生の子どもたちがステージで一人一人「わたしの決意」を発表しました。「自分は将来どのような生き方をしたいか」あるいは「どんな人生にしたいか」について、皆、堂々とした態度で胸を張って発表することができました。記念合唱の「あなたへ」と「春風の中で」の歌声もすばらしく、まさに“立志”にふさわしい会となりました。

第2部は、講師に元女川中学校教員の佐藤敏郎先生をお迎えし、「今日まで そして明日から」という演題でお話をいただきました。佐藤先生の「今生きている今日は、昨日死んだ人が死ぬほど生きたかった今日だ」という言葉や、「自分は誰かに支えられて、明日を生きていく」という言葉など、子どもたちは心に残った言葉がたくさんあったようです。最後に歌まで披露して下さった佐藤先生に心より感謝いたします。

この「立志の会」が、「自分はどんな価値を大切にしながら人生を歩んでいくのか」について、子どもたち一人一人が考えを深めるきっかけになることを願いながら、これからも子どもたちの心に働きかけていきたいと思っております。

お忙しい中、ご来校くださいました保護者の皆様、地域の皆様、どうもありがとうございました。



## ◆◆救急救命講習を実施しました◆◆

2月6日(月)に、2年生の保健体育の授業で、救急救命講習を実施しました。

女川消防署の方を講師としてお招きし、心肺蘇生法などの実技も交えながら、救急救命についての理解を深めました。



AEDの使い方についても学びました。

## ももいろクローバーZが来ました

2月8日(水)に、ももいろクローバーZの皆さんがテレビ番組の収録のために女川町を訪れ、漁業体験などをした後、女川中学校にも来校しました。

サプライズの演出に、はじめは戸惑っていた子どもたちも、1曲だけのミニコンサートを盛り上げました。

放映日が決まりましたらお知らせします。



## 地震避難訓練&防災集会を行いました

2月14日(火)の6校時に、地震避難訓練と防災集会を行いました。避難指示をしてから中庭に一次避難して点呼完了するまでの時間は3分20秒でした。昨年度は4分を超えたので向上しました。

その後、体育館に移動して生徒会防災委員会の司会で防災集会を開き、訓練の振り返りをしました。

防寒着をもっていない生徒がいたため、教頭から「この季節に災害が起きて屋外に避難した場合、防寒着があるのとないのでは全く違う。自分の命を守ろうとする防災意識は防寒着を持参することからスタートする。」ということをお話しました。



## 山内の“ひとりごと” Vol.11

3年生の、ある日の、担任の先生の話。  
「前期入試に合格した人と、これから後期入試を受験する人に、キミたちの先輩の話をしてしたいと思います。前期入試に合格して高校に入学し、今高校生活を送っている君たちの先輩、Aくんの“後悔”の話です。

『私は、大学への進学を希望していたため、地元の進学校の前期入試を受験して、運よく合格しました。そのあとは、入試という目標がなくなってしまったためか、どうしても気持ちのゆるみが出てきて、周りの後期入試を受ける人たちほど勉強に身が入らなくなってしまいました。高校入学後、すぐに実力テストがありましたが、中学のときに自分よりも成績がよくなかったHさんよりも点数が低く、順位もあまりよくありませんでした。ショックでした。Hさんが伸びたわけを考えてみました。答えは簡単でした。Hさんは後期入試だったので、入試日までずっと勉強を続けていたからです。高校合格が最終目標ではなく、大学進学への通過点だったはずなのに、合格したことに安心し、自分のすべきことを見失っていたことを後悔しましたが、後悔先に立たずでした……。』この例から何を学ぶ？前期入試で合格した人は、高校でよいスタートを切れるように復習を続けること。後期入試を受ける人は、今は辛いけど、そのぶん高校ではよいスタートが切れるということだ。大切なのは、自分の本当のゴールを見失わないこと。』

## 女川町PTA連合会(女川小中PTA)で 小中一貫校の色麻学園に視察に行ってきました

小中一貫校スタートに向けて、PTA組織の改編等が必要になることから、そのための先進校視察として、1月30日(月)の午後に、町PTA連合会で色麻町立小中一貫校色麻学園に視察に行ってきました。小・中学校の教頭、小・中学校のPTA役員からそれぞれ5名、町教育委員会から1名の計13名で訪問し、色麻学園のPTA会長さんをはじめ、役員の方々から組織立ち上げ時の貴重なお話をうかがうことができました。



〈小・中合同の広い図書室〉